

# めだかの学校だより

令和5年11月1日  
第121号  
学舎：周智郡森町  
「一宮総合センター」  
事務局：静岡県磐田市  
家田 529-20  
TEL:0539-62-6691

## 校長訓話

第二二一回 校長 秋山 勝則

『君たちはどう生きるか』

少し前ですが、ジブリの宮崎駿監督が吉野源三郎さんの小説を映画化し話題となりました。そのタイトルが「君たちはどう生きるか」何か、時代や宮崎監督の意図を感じずにはいられません。自分はまだ観ていませんが、流行に乗らない天の邪鬼、48歳です。(笑)

なぜ、こんな書き出しをしたのか後悔しながら、少し皆さんと考えたくて話題を提供したいと思います。

文科省の発表によれば、全国の不登校生徒児童数は約29万9千人。磐田市でも489人。一校あたり15人の計算になるでしょうか。自分は学校が大好きでした。そこに行けば楽しい事がありました。授業では、どうしたらクラスに笑いが起きるか回答を捻らせていた気がします。給食も楽しみでした。お気に入りには「さくら御飯」。今思えばクジラのケチャップ和えも美味しかった。昼休みは低学年まではドッチボール。高学年ではサッカーをクラス

の男子でやってました。

学校が終われば、夏は川に入って魚採り、秘密基地づくり、自転車レース、ドッチボール・野球・サッカー、近所の年上のお兄さんたちと日が暮れるまで遊んだものです。小学4年生からは、少年野球に入ったので、毎日、厳しい野球漬けの日々になりましたが、それでも学校へ行きたくありません。1ミリも考えた事はなかったと思います。

社会環境は変わりました。人口減少社会、一億総活躍社会の掛け声とともに、若い子育て中のお母さんの多くが働くようになりました。急激な社会の変化に環境整備が追いつかず、「保育園落ちた、死ね。」のSNSの発信から保育園不足が社会問題になりました。

不審者が出たという警報メールも少なくありませんし、大阪池田小学校での無差別殺傷事件などの事件も忘れることはできません。

学校も変わりました。最近では一人1台タブレットを持ち授業での活用も始まっています。厳しい指導の多くは体罰に分類され、先生からゲンコツを落とされることはもうなくなりました。自分も何度見せしめのゲンコツ

やビンタをくらったでしょう。教師も不祥事などのニュースも目にしますし、親によるクレーム過多も聞きます。色々要因はあると思いますが、これからの時代をつくる子ども達の現状に懸念を抱かずにはいられません。次回めだかの学校では「みんなでお有意義って」皆さんと色んな考えを深掘りできればと思いますので、ぜひ御参加下さい。

- ① 現状の不登校生徒児童の増加をどう考えますか？原因は？
- ② 身近な体験談
- ③ どうしたら、良い方向へ向かうと思いますか？その処方箋は？



## めだかの学校伝言板

第121回めだかの学校を開校するので出席しなさい。

校長／秋山勝則

教頭／鈴木偉代

用務員／田村進治

給食係／※給食は取り寄せです。

<学舎> 静岡県周智郡森町一宮 3150

「一宮総合センター」

※コロナはまだ収まっていません。

手洗い、消毒、マスクをして3密は避けて下さい。

開校日／令和5年12月2日(土) 正午～

受付／大場敬子・大橋町代・榊原幸雄(後見人)

31期通年テーマ：『原点に帰ろう…建学のこころの精神に』

今回のテーマ：「みんなで お有意義って…」

<時間割>

●1時間目 国語

「これからの未来を語る…」大杉昌弘先生

●2時間目 社会

「地域を守ると言うこと…」山下愛仁先生

●3時間目 音楽

「未来を継ぐ愛唱歌…」埋田千聡先生 若尾和孝先生

●給食は取り寄せです。

PM3:15開校

# めだかの動き 泳ぎ回るめだかたち

■5月19日のゴンちゃんですが、バラさんがいつも読んでくれてるというので「バラ」をたくさん入れてみました(笑)



静岡新聞朝刊 4コマ マンガ  
「ゴンちゃん」のひとつコマです。

今年の夏は暑かった。秋も暑いらしいです。「自愛を。(かまちよろろうメダカ)

■みなさん、似たような体験ありませんか？

ヘルニアの先輩体験談を聞き、俺は異常でもなければ変態でもなかったと安心しております。

5月下旬頃、下腹部の異常に気づき部位が部位だけに悩んだ末に、友人の泌尿器科の村上クリニックに、「大先生(オヤジ)に診てもらいたい」と予約して出かけまし

た。いつも診察には看護婦がウロウロしているの、自分の患部の状態をスケッチ(画)にして持っていました。運悪く友人の大先生は具合が悪く息子の若先生に絵を見せて説明したところ、患部を診察しなくても、この完璧な絵だけで間違いなく、鼠経ヘルニアです。医学専門書以上に画かれた達人な絵ですと、ほめてくれて周辺に居た看護婦どもを集めて、持参した絵を見て、皆んなでハシヤイでございました。

外科手術の出来る病院を紹介と云う事で、7月26日に清水病院で行いました。思い起こせば50年前にバイクのロードレース中転倒、肩骨を砕いて救急車で入院。腰の骨を肩に移植する手術の折には、脇の下の毛は当然、腰の近くのチン毛を見習い看護婦には剃らせられ無いと大騒ぎして、お袋に近いおばさん婦長が私が剃ると、ついでに流腸も…。

今回の脱腸手術も、それを恐れていたわけです。全麻酔なら俺知らない…。ところが麻酔が目覚め始めた頃に尿意を催し、我慢をしていたものの限界に至り、看護婦に伝えたところ、ハイハイ!と俺のポコチンを指でつまんで尿ビンの中に。当然、その早業では立つ程の時間は無く…。時間はあっても立つ心配は限りなく無く…。自覚しております。しかしながら幾つになっても恥ずかしいと申しますか、カッコウのいいものではありませんね。孫のような看護婦さんに気の毒で…。

私共の山の神に言わせると、看護婦さんから見れば患者のポコチンはイボみたいなもの、仕事に徹して何とも思っていない…と申しております。だって。(笑)。  
※本人の了解を得て掲載しています。ハイ。

## ■地元の神社を大切にしよう

三熊野神社と水神社の2つの神社の氏子です。沢山の人達に神社に参拝に来ての

んびりして頂くように、三熊野神社境内に氏子総代の皆様と、初夏にシヤガ、秋に金木犀、冬に石路と千両を。水神社に桜と紫陽花、石路、秋にアサギマダラを呼ぶために、ふじばかまを植えました。めだか生の皆様、めだかの便りを読んでくれてる少し前には、沢山のアサギマダラが飛来して、氏子の皆さんを楽しませてくれていました。地元の神社を大切にしたいですね。だって。(めだか第一期生鳥山剛メダカ)。

## ■いなさ人形劇まつり

いなさ人形劇まつりが、11月11日(土)12日(日)の2日間、浜松市北区引佐町の引佐協働センター、引佐多目的研修センターを主会場に開催される。昨年はコロナの関係でyoutubeによる「ライブ配信」でしたが、今年は3年ぶりに有観客で。プロ劇団や地元の劇団など30劇団が出演予定。物産展もありますヨ。問合せは、いなさ人形劇まつり実行委員会053・542・1112。

## ■豊岡東交流センター文化祭

磐田市数地の豊岡東交流センターでは、11月18日(土)19日(日)の2日間豊岡東交流センター文化祭が開催されます。交流センターの利用者の作品や、多くの作品が展示されます。18日(土)は10時からお茶会。19日(日)は、リンデンパウムコーヒショップがあります。どうぞお出かけを!とバラメダカ。問合せは、豊岡交流センター0539・62・6669へ。

## 『人・ひと・ヒト…だより』

●浜松市の小野田宗弘メダカ。ワクチン打ってないんですが、8月の頭に人生初の口ナでした。しかも野宿ツーリング中の、

会津の山のなかで。かぜの症状はないんですが、人生初の全身の筋肉と関節の激痛でした。本当に痛かった。2日かけて帰宅し、シツプをしてもらおうと思つて受診して陽性反応です。結局かぜの症状は全くありませんでしたが、コロナは単なるかぜじゃないんですね。みなさんもご注意下さいね。だって。大変でした。ワクチン打った方がいいかも。

●浜松市天竜区佐久間町の山田修平メダカ。当地では現在、コロナ感染が広がっています。ここの1週間で知人が3人ほど入院しています。コロナ感染の怖さは以前と変わらないはずなのに感染情報が全く入ってきません。この国の行政って、どうなっているでしょうね。無責任国家なんですね。だって。

●磐田市の小野里美メダカ。「建学のころ」と経緯を読んで、あらためて学校に参加できることを幸せにおもいます!!。だって。いや、嬉しいですね。そのように思つてくれて…。9月2日のめだかの学校には、86歳のお母さんと出席してくれました。

●浜松市の大谷洋介メダカ。お便りありがとうございます!。相変わらず型やぶりの企画面白いですが、もう年だからと思ひ、迷っていました。「出席」することにしました。だって。86歳は若い若い。袴田克臣先生も86歳ですぞ。(笑)

●千葉県習志野市の市原実メダカ。暑い毎日です。昨年までと違って数段の暑さが強いですね。今日「めだかの学校だより」をいただきました。このたびのご案内に『めだかの学校「建学のころ」』という印刷を加えていただき、当初の意気込みを知ることができました。だって。いや、あの頃は若かった。

●磐田市の鈴木裕之メダカ。還暦になりました。

たが、お客様は私よりずっと人生の大先輩ばかりで「若いわねえ〜まだまだ」と言われながら仕事と遊びに動き回っております。前回の「意見掲載もして頂いてありがとうございます。父がもういませんで薬剤師なしでは薬局は開けられず、欠席で残念。だつて。」

●浜松市北区引佐町の大谷義房メダカ。戸田誠議長就任祝賀会が9月3日にあり出席できませんが機会をみて、戸田誠と共に「めだかの学校」に参加したいと思ひます。だつて。84円切手75枚と、10円切手25枚を送ってくれました。感謝！。誠ちゃん共々待つてます。

●浜松市の埋田千聡メダカ。音楽活動を通して三遠南信地域に仲間をつくる活動をしている。9月には飯田市上久堅のライブ出身者に依頼されて、5月に続いて個人宅内で「飯田しの会」と共催して、5時間のライブ交流したんだつて。これからも春と秋にお邪魔する、と南信州新聞に掲載された。取材はもちろん河原俊文メダカ。上久堅には「ひさかた風土舎通信」を発行している長谷部三弘メダカがいる。こんど引つ張り出して欲しいね。

●三島市の野村諒子メダカ。今年は様々な行事が例年通り開催され、朝昼晩と超多忙な日々が戻り歩いております。「出る所がある」ことは幸せなことだと思つて顔を出す様にしています。めだかの学校楽しんでおりました。他の事業と重なり欠席。皆様楽しんでお過ごし下さい。だつて。議員のみなさんは本当に多忙ですね。感心しています。

●磐田市の宮澤博行メダカ。9月の内閣改造で防衛副大臣に就任。緊張伴う今の世界情勢のなかで日本の防衛を担う！。頼りにしています。めだかの学校では、やっぱり歌がいいです。文部省唱歌とか、だつて。

そうだね。童謡もいいかも。埋田千聡先生もいるし。

●浜松市の鈴木偉代メダカ。暑い日がつづいていきます。お変わりありませんか？。朝晩はそれでも涼しいかな？。昨日(8月25日)ごろかな？は、銅鐸公園の整備でした。シラタマホシクサ、いつもと違ってまだこれから咲く感じで遅いです。今年の夏の天候はやつぱりおかし、だつて。そうだね、うちの庭のモミの木も暑すぎたのか急に枯れてしまった。

●飯田市の河原俊文メダカ。5日に浜松市中区蛸塚の、うなぎの『かんたろう』に取材で行ってきた、だつて。女将さんは蜂須賀千賀子メダカ。『かんたろう』は、蒸さずに焼く関西風炭火焼でうなぎの有名店。店名は伊那谷の任侠映画のヒーロー「伊那の勤太郎」に由来とか。三遠南信BIZの9月号、私のおススメコーナーに載つてます。かんたろうの問い合わせは053-455-8823へ。

●静岡市清水区の花井孝メダカ。：余談ですが「建学のころ」の文章で、「お遊戯にお有義」このオヤジギャグは秀逸です。面白い関係性のある処が意義深い。これも余談ですが、全くの偶然と申しますか「建学のころ」の文中にある「好奇心」しなやか”強か”の三つのキーワードが、私が企業から依頼されている新入社員研修の花井ゼミの基本テーマになっております。この建学のころを知る以前からの偶然に驚いております。：10回講座の底流を流れるメインテーマは”しなやかに、強かで世渡り達人への途”と題しております。だつて。ごめんなさい。だいがかい摘んでおります。です。ハイ。

●北海道オホーツク佐呂間町の船木耕二さん。福島の処理水で、中国が日本からの海産物全面禁止で、北海道の帆立漁業は一

番打撃を受けて大変。そんな中、道三ホタテの支援、感謝だつて。来年の「第20回全国まちづくり交流会」の日程は、9月27日(金)〜29日(日)、北海道津別町で決定しました。と。

●岐阜県坂祝町の長谷川政夫メダカ。23年目の開店記念日(2001年10月31日)に思うこと色々。10月31日は、そばの里深宣ふーどの開店記念日です。思い出すなあ。50歳で脱サラし、まず蕎麦の栽培の百姓になって、その2年後に蕎麦屋の親父に。アツと間の22年間でした。脱サラではなく40歳になるまでそばが大嫌いだった男が蕎麦屋の親父になるのだから!?!。目標を「1人でも多くのそば好きを作る」と定めてやってきて、22年目の月日、40歳の時に食べたとシヨックと同じ様に「今まで蕎麦は好きでなかったけど、そばってこんなにおいしいの!?!と感じた。好きになった。」等々の話を聞いた方が数多くあります。ある程度は：かもしませんが、20年顔晴れたらなあ、と始めた蕎麦屋、まずまずの合格点でしょうか？。(略)11月1日の23年目の営業初日から新しい気持ちで頑張ります。だつて。蕎麦屋をオープンする前に、「ご自宅でおそばをいただいたのを思い出します。「からし大根おろしそば」だった。おいしかった。記事、だいが割愛して「ごめんです。

#### 《新入生紹介》

●磐田市の中野眞メダカ。NPO法人三遠南信アミの副代表理事で、三遠南信地域を大切にしながら、長野県の売木村、阿南町、天龍村や、愛知県の東栄町、豊根村などを応援しています。だつて。

もつともつと伝えたいが、紙面の都合で今回はこれまで。お手紙ちょうだいね。

#### 『めだかの春秋』

鈴木正士さんのこと

さて、正士さんのこと。今年6月23日に発熱しコロナとの診断を受けた。その後27日に体が動けなくなり救急車で搬送され腎臓に膿がたまっているとのこと。治療を受けつつ、精密検査を受けたところすい臓癌で、すでに肺にも転移との診断。体力が低下している上に抗がん剤治療となると副作用で日々の暮らしに支障が出ることは目に見えている。延命は可能ではあるが、治る見込みはないのであるならば、治療はしない。日常生活ができないようになればホスピスに入ろうと思意を固めた。

私は月1度浜松に帰る時に正士さんを訪ねることにしている。9月、10月に伺ったが、闘病中ではあるが、見た目は以前と変わっていることは殆ど感じない。屋敷を正士さんが以前蕎麦打ちをしていた「花咲乃庄」で一緒にした。手打ちそばとうな重からなる「花咲御膳」をべろりと食べきる。食欲に衰えはない。病気のことを知った方々から「ゴーヤージュース、葉草茶、体を温め栄養剤を飲むことを勧められ実行している。効果が出ているのかも知れない。7月に余命半年と医者からは言われていた。嬉しいが、まだまだ元気だ。

正士さんとの関係は30年程遡る。当時静岡県都市計画課に所属していた私に豊岡村都市整備課長の正士さんが「村に出向してくれないか」と誘われたことから始まった。平成6年度1年間、正士さんのもと参事の職名を得て一緒に仕事をした。同年6月のめだかの学校に連れて行つてもらったことが今に続いているのだ。

溝口久メダカ

## ■事務局だより

今年もあと2カ月弱となりました。月日の経つのは本当に早いですね。年齢を重ねると特に早く感じると言われますが：（笑）。それにしても今年の夏は本当に暑かったですね。みなさんは、いかがお過ごしだったでしょうか？普段冷房はつけていなかったのですが、我慢できずつけてしまいました。（笑）。11月に入って朝晩は寒いのに日中は暑い。この寒暖の差には困ったものです。どうぞお自愛を！

さて第120回めだかの学校は、令和5年9月2日、校長鷺山記世、教頭横山忠志、用務員村田徳治。進行も良く、3人の息もあつていい授業となりました。今回は期初で、校歌斉唱の後『建学の精神』の唱和。『建学の精神』はコピーして全員に送りました。初心に思いを寄せて…。新入生紹介では、山下愛仁メダカがコロナで欠席。飯田市の河原俊文メダカと磐田市の中野眞メダカ、久しぶりに出席した飯田市の玉置洋一メダカもあいさつしました。取り寄せの給食をいただいた後、出席者全員で写真を撮りました。みんないい顔しているですよ。良かったです。

13時10分からの校長訓話。鷺山記世校長『出席2回目の私が校長…』ハンディを持った妹と父の3人で外出した時、小さな子がジーと妹を見ていた。その時の父のかなしそうな顔が忘れられない…』など語る。それを受けて事務局のバラメダカ「若い頃から人形劇活動を通して障害ある人たちと関わってきた。学舎「つみくさ」での原点もそこにあった」と。



## 13時30分からの授業。

1時間目「今更聞けない？デジタルって」小林成彦先生。「プロジェクトの準備があるので5分ほど時間を…」と。その間花井孝メダカが山下愛仁メダカの他己紹介をする。

さて授業は、プロジェクトを使って、映像、動画、スマートフォンを使って引佐町洪川からSNSで宣伝。YouTube、ツイッター、LINEなどについて話す。小さな助手さんといっしょに（笑）。2時間目は南信州新聞記者の河原俊文先生の「企業より人って…」月刊紙「BIZ」と資料を配って、三遠南信道路など取材を通しての三遠南信情報をプロジェクトを使って語る。3時間目は袴田克

臣先生の「今の時代に方丈記って」。いや〜凄い。方丈記やういろう売りや奥の細道など、歌うかのように朗々と語る。86歳にしての記憶力と声量、脱帽です。

私語飲食全て禁止の次期三役発表。校長 秋山勝則、教頭鈴木偉代、用務員村田進治。秋山校長欠席のため代理大谷洋介。なんと校長代理と袴田先生、1カ月違いの86歳だつて（笑）。そのあと全員で「今日の日はさようなら」を歌って元気で再会を！ひとりひとり握手してのお別れはまたコロナが収まらず、いまま少しお待ちくださいね。



## 第121回めだかの学校職員会議を、

10月14日（土）10時から学舎で開く。校長の秋山勝則、用務員の村田進治、教頭の鈴木偉代は法事で欠席。職員は石野省三、松本芳廣、伊藤英雄、中村明男、埋田千聡、大島たまよ、榊原幸雄、遅れて榊原淑友、服部守孝の11メダカ。秋山校長、田村用務員のあいさつの後、松本メダカの法多山だんごの差し入れもあつて会話もはずむ（笑）。121回のテーマは31期通年テーマが『原点に帰ろう…建学のこころの精神』であるので、それに連動して『みんなでお有意義…』に。授業については第119回先生であつた大杉昌弘メダカが台風災害の対応で出席できなかったため、1時間目、国語「これからの未来を語る…」に。

『12月は歌がいいね！』と3時間目にして20分を30分に拡大。先生は埋田千聡メダカと久しく出席のない若尾和孝メダカの音楽「未来に継ぐ愛唱歌」に。うん2時間目は？色々意見は出たが新人がいい、と。磐田市の危機戦略監の山下愛仁メダカの社会「地域を守る」と言うことは…に決まる。「堅い山下さんがめだかやわらかくなつたと言われるといいね」だつて（笑）。

秋山校長、校長訓話で質疑応答したい、だつて。便りの校長訓話内で書くとも…



（事務局 バラメダカ）

## ■第31期の受付を始めています。

第31期は令和5年9月1日から令和6年8月31日までです。10月20日現在65人が申し込みを済ませています。まだ未提出の生徒は至急出してね。自主退学にならないように、待ってまう。入校を希望される方がいましたら事務局まで。申込書と資料送ります。『若い人がいいな』だつて。

## ■今回も遅れてごめんなさい。

いつもご協力の石野省三メダカ、伊藤英雄メダカ、田村進治メダカ、水島加寿代メダカ。120回の写真提供横山忠志メダカ、まとめてくださる間瀬亮太メダカ、発送などのお手伝い榊原明美さん、ありがとう。感謝！

## ■めだかの学校だよりの原稿を！

次回の発行は、令和5年2月1日予定。締切1月15日です。みなさんの日頃の活動をお手紙・FAX・LINE・FBで。メールの方は、

《navun.f100@gmail.com》  
間瀬亮太090・5009・0986です。  
（アドレスが変わりました。まだ昔のアドレスも可。）

## ■めだかの学校の事務局

〒438・0105 静岡県磐田市家田5  
29番地20 榊原幸雄方 TEL 05  
39・62・6691（FAX同じ）  
※学舎「一宮総合センター」周智郡森町一  
宮3150。電話 0538・89・77  
30 開校日の午前11時以降のみ使用可。  
携帯 080・1612・9130

